平成20年10月１日
第　10　号

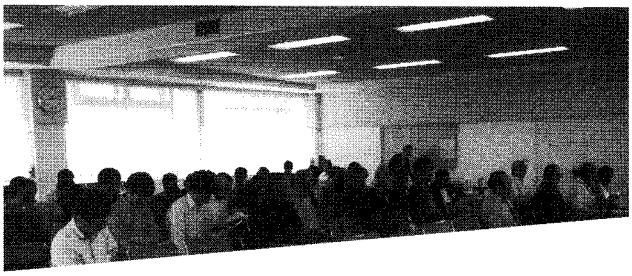
加治丘陵だより

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net　URL http://npokajihozen.seesa.net/

第６回通常総会の開催

平成20年６月８日(日)入間市市民活動センターで、第６回通常総会が開催され、出席した会員60名、委任状92名合計152名で総会成立。山西副理事長の司会、議長は砂川英昭会員、議事録署名人は佐藤敏男会員と宮浦国継会員が選出・指名された。来賓には木下入間市長、新井県議、(田中県議欠席）がご出席の上開始され、清水理事長の19年度事業報告、及び当グループの現状報告の後、議事に入り、第１号議案、19年度収支計算書（案）第２号議案貸借対照表（案）第３号議案財差目録及び第４号議案創立５周年記念事業収支計算書(案)が議決。更に第５号議案任期満了に伴う役員変更(案)は理事12名と監事１名が留任、同じく３理事と１監事の退任・新任が各々提案され議決。第６号議案役員の内報酬を受ける者(案)は、５名の正副理事長として又、その他の事業会計関係も提案され更に、第７号議案20年度の事業計画(案)及び予算(案)も大多数の賛同を得てそれぞれ議決された。一部収入減少の対策に質問があったが、我々は現状をみての計画を説明し、大多数の賛同を得た。厳しい環境の中、これからもご支援ご協力をお願いします。（事務局長　大山　博）



▲通常総会へ会員が多数出席

◀砂川英昭会員が議長に選出される

講演会の開催　講師　いるまキノコ愛好会　会長　齋藤武弘 先生

【プロフィール】

1945年入間市生れ。法政大学社会学部卒。家業の肉専門店「丸大」を継ぎ、現在店主として活躍中。1990年「いるまキノコ愛好会」を創設、現在会長として143名の会員指導に当たられている。

【演　　題】

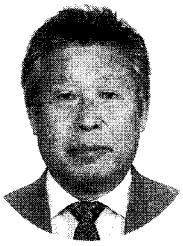
『里山におけるキノコの生態系』

【講 演 趣 旨】

加治丘陵は、自然に恵まれた里山であり、多くの野生動物が生育、生息している。又、自然の拠点、街のシンボルとして親しまれている中、昔はキノコの種類も多かったが、今では数十種類が確認されているに過ぎない。自然の変化での影響と考えられる。キノコはヘルシーな食べ物として親しまれているが、ニガクリダケなどの毒キノコには注意が必要だ。ただ、タマゴダケなど６月から10月にかけて群生が見られるのが楽しみ。キノコの王様マツタケは、採れたという噂を聞く程度。恐らく無い。参考書や熟練者に聞きながら、身近でキノコ狩りを楽しんでもらいたい。　（事務局長　大山　博）

理事長あいさつ

理事長　清水　徳三



当グループも、会員の皆様のご支援、ご協力で６年目を迎えました。新年度のスタートで、新たな役員も選出されました。今年度も５年間の実績をもとに、安全作業を徹底し、活動を進めていきたいと考えています。

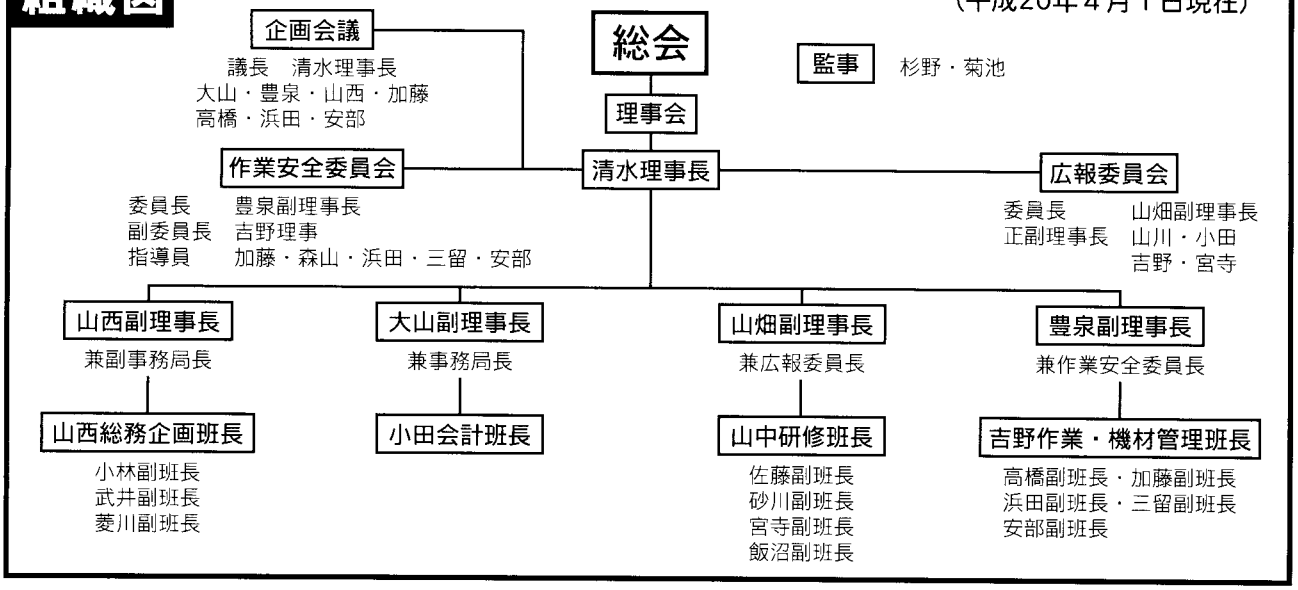
特に無償整備地区を設け、自分たちでもっと楽しみながら、自由に森林里山を育てていきたい思いで着手しました。これは会員に限らず、誰でも参加してもらって、加治丘陵を皆さんに知ってもらおうという主旨のもと進めていきます。マイナスイオンいっぱいです。ご参加お待ちしています。

役員紹介

理事長 清水徳三	副理事長 広報委員長 山畑　博	副理事長 事務局長 大山　博	副理事長 副事務局長 総務企画班長 山西素直	副理事長 作業安全委員長 豊泉　功	理事 山川英男
理事 会計班長 広報委員 小田稠夫	理事 総務企画班副班長 小林貞治郎	理事 研修班長 山中洋忠	理事 作業・機材管理班長 吉野行男	理事 森山　弘	
理事 研修班副班長 広報委員 宮寺茂子	理事 作業・機材管理班副班長 三留一夫	理事 総務企画班副班長 武井文雄	理事 総務企画班副班長 菱川浩次	監事 杉野喜久	監事 菊池　誉

組織図

（平成20年４月１日現在）



これからの５年をどうすべきか

当グループは創立以来５年を経過した。発足からの中、長期計画は右も左もわからずの、ただ右肩上がりのものだったが、基盤も人材も安定した今、冷静沈着に現状を見つめ直し、背伸びせず、ボランティアの理念をもって、これからの５年をどのように活動すべきか企画中です。若手リーダー達の育成、委託契約の拡大、事務所、動力機械やその他の管理、安全対策、会員増強に至るまで、幅広く会員各位のお考えを是非ご投稿下さい。

より良いグループの発展の為にご意見をお待ちしています。

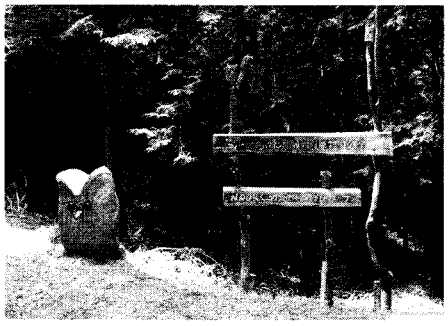
事務局長　大山　博　ＴＥＬ／ＦＡＸ ０４－２９６４－０３６５　住所 〒358-0008 入間市河原町15-6

平成20年上期活動状況

当グループも６年目を迎えました。段々会員も高齢化し作業もきつくなっているので、平日・日曜日共午前中の作業にしようという申し合わせでスタートしましたが、作業当日が雨で中止になったり、当日の参加者が少なくて思ったほど作業がはかどらず、急遽午後の作業を組み入れたりした日もありました。しかし、今年は当グループの活動趣旨をご理解して頂いた「むさしの緑の基金」から助成金を頂戴し、チェーンソー３台と刈払い機４台を購入できたお陰で作業機材も更に充実し、会員一人一人の作業能率もあがっており、入間市から委託された南峯狭山地区、上谷ヶ貫南真込谷地区・蓬谷地区など上期の作業予定面積５万㎡も順調に整備できました。このペースで行けば、平成20年度もオゾン一杯の加治丘陵を、小鳥のさえずりを聞きながら、各々体調に応じて楽しく余裕をもって活動しても、期初の整備予定面積10万㎡も充分完遂できると確信しています。

（副理事長　山西素直）

ふれあいの森



北コース南真込谷の無償整備地区「ふれあいの森」の作業も少しづつ動き始めました。まず込み合っている樹木の間伐からスタートしています。５月にはすぐ場所がわかるように会員手作りの表示板と大きなふくろうを設置しました。北コースを散歩する皆さんにきっと喜ばれると思います。ベンチや小鳥の水飲み場、バードウォッチング用の小さな小屋などをこれから作っていく予定ですが、まずは下の方まで楽に降りて行ける様、間伐材を用いて階段を作ります。会員に限らず一般の市民の皆さんと楽しく交流しながら整備をしていく予定です。毎月第３日曜日の午前中楽しく活動してまいります。

（副理事長　山西素直）

チビッコ・カブト虫取り大会開催

今年もカブト虫取り大会を７月12日(土)13日(日)の２日間開催。昨年は台風の影響で１日だけで終わったが、今年は２日間天候に恵まれた。例年の通り児童センターに受付窓口をお願いして募集、今年は園児が多く、12日が22家族76名、13日が19家族64名の参加があった。カブト虫を持って帰る子供が「おじさん〝ありがとう〞」と言って帰る姿を見て関係者一同安堵した。ご協力ありがとうございました。

作業班長　吉野行男

森林視察研修 秩父両神山

９月７日(日)、秩父市の北、両神地区の森林視察を開催。バスの窓からの眺めは、緑が多くなり、山が近く大きく感じられ、杉の木々がよく手入れされていたのが印象的。両神神社へ参拝後、中国文物が展示されている「神怡館」を見学。浦山山荘での懇親会は楽しく、更に親睦を深め、浦山ダムを背にして帰路についた。37名参加。　研修委員　宮寺茂子

安全講習会の開催

６月22日(日)、加治丘陵さとやま管理事務所において開催した。(参加者23名)

初めに、山畑副理事長より安全作業に関連して、朝の作業指示、連絡、服装のチェック、作業中の注意事項や健康、体調管理について説明があった。続いて安全対策として、蜂にさされたり、毒蝮にかまれたり、あるいは脱水症等については、お互いに声をかけ合って防止に努めるよう注意喚起があった。本日の講習会のメインは、中谷和夫氏(会員)の機器取扱い講習で、機器の構造や、取扱い上の諸注意について、細かく説明があり、且つ、実際に管理事務所前で各自が機器を手に持って、点検、始動、操作、作業等再度確認しあった。又、自己流ではなく、機器に応じた操作取扱いで、保全と安全作業の維持向上に努めるよう説明があった。活発な質疑応答があり、大変有意義な安全講習会であった。(副理事長・作業安全委員長　豊泉　功)

趣味の会 発足

トップをきってゴルフ会を発足し、９月26日(金)第１回コンペを群馬県シルクカントリー倶楽部で開催した。４組16名が参加し、小林貞次郎会員が優勝。楽しい一日だった。

入会のお誘い

当グループでは、加治丘陵の保全と環境に関心のある方（正会員）、及び企業（賛助会員）を募集しています。

＝ 会員になって活動を支えて下さい。 ＝

- ●我々はボランティアで活動しています。
- ●約180余人の会員が汗を流して頑張っています。
- ●年会費　正会員（個人）2,000円
  賛助会員（会社又は団体）１口10,000円
- ●加入連絡先　０４－２９３２－４５１５（清水徳三）

お知らせ・イベント情報

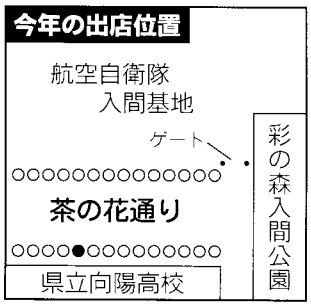
● 宇都宮大学との意見交換会開催

９月28日(日)宇都宮大学工学研究科・足利工業大学付属高校山口廣訓教諭ら３名が里山保全・活用に関する研究の為、当グループの作業活動に参加、活動の在り方を見学、その後昼食を共にしながら、２時間程の意見交換会を行った。入間市みどりの課からも参加。総勢25名

● 入間万燈まつりへ出店します。

来る10月25日(土)～26日(日)開催。当グループも茶の花通りへ出店します。例年の通りイカの丸焼き、手づくり木製品など販売予定。現在企画立案中。皆さん、お誘い合わせの上是非お立ち寄り下さい。お待ちしています。　**(実行委員長　吉野行男)**

昨年の出店風景



編集後記

第６回通常総会も無事に終了。新役員も選任され、さらにグループの充実が期待されます。総会終了に引続いての講演会は、いるまキノコ愛好会齋藤武弘会長に、永年の研究成果をお話しいただいた。９月恒例の森林視察研修会は秩父両神地区で、会員一同おおいに鋭気を養った。１ヶ月余の夏休みも終り、上谷ヶ貫蓬谷での秋の作業がスタートした。作業班の機械点検整備も万全で、エンジン音も快調に、心地よい汗を流している。

(副理事長・広報委員長　山畑博)

発行責任者：清水徳三　〒358-0053入間市大字仏子1397－1　☎０４－２９３２－４５１５